３Ｄマグネットフック 『スパイダー』 の国内生産移管について

一般財団法人品川ビジネスクラブ

１．依頼者

　株式会社アットソリューションズ（<http://atsols.co.jp/index.html>）

　　所在地　　東京都中央区人本橋2-4-9 人形町双葉ビル

　　設　立　　昭和63年

　　資本金　　1200万円

　　従業者　　8名

　【担当者；スパイダー開発者】

　　菊池　直樹（インダストリアルデザインディレクター）

1963年神奈川県生まれ。千葉大学工学部を卒業後、リョービ、アイリスオーヤマなどで商品企画開発・設計製造管理業務に26年間携わる。

その間には株式会社ＩＦインターナショナルを設立し台湾・中国の現地工場の製造管理業務を請け負う。

＊マグネットフック；平成25年度新製品・新技術開発助成事業（東京都）に採択

　　　　　　　　　；国内特許、国際特許 申請中

２．スパイダーの生産・販売実績

（１）製品ラインアップ；FMH見積関連資料一式参照

　・最大荷重 4.0kg／3色

　・最大荷重 12.5kg／3色　　　計6種類

（２）生産・販売体制

　・中国事業者への生産委託（技術指導）

　・株式会社ミツヤ ブランドで販売（ホームセンター、文房具店、東急ハンズ他）

　　（<http://e-mitsuya.co.jp/>）

（３）実績・見通し

　・2014年の年間販売実績；27000台

　・2015年の販売予測；約40000台（アスクルでの販売開始他）

３．国内生産移管

（１）背景

　・円安による中国生産の優位性が低下（トータルコスト）

　・現商品の改良、新型の開発・生産・販売、新商品の開発・生産・販売を予定しており、行き来しやすく管理も行いやすい外注・連携先との事業体制の構築を検討

（２）生産移管

　・中国より金型は持ち出せず、生産移管を実施する場合、金型製作より着手

　　（国内では新型の生産を想定、金型も新型向けに製作）

　・生産移管にともない、金型製作、成形、部品調達、組立、検査、パッケージ製作、箱詰め、梱包までの一括発注を望んでいる

・条件が見合えば量産化（6ヶ月～1年程度での移管を想定）

４．見積依頼の目的と内容

（１）国内（東京）生産相場と国内生産に向けた条件の把握

　【お願いしたい見積】

　◎現行商品6種を1種の最低数量300台以上、6種の合計3000台を発注単位とし、

成形、部品調達、組立、検査、パッケージ製作、箱詰め、梱包までを行った場合の費用見積

　　＊現行仕様、金型を仕様した場合の見積　；FMH見積関連資料一式参照

　　＊商品構造、生産工程の改良提案も含めた見積

　◎現行商品の金型製作費の見積

（２）提案・連携先の発掘

　◎商品の効率的生産も踏まえた構造、生産工程の提案、用途開発、販路開拓など、商品化におけるパートナーの発掘

　　＊菊池氏の所属していた企業等からの開発案件が多数あり